

疾患名 : 大腸癌 1クール : 28 日 総クール数 : 可能な限り

1. 薬剤

抗癌剤一般名	商品名	標準投与量	投与日	用量規制毒性
イリノテカン	イリノテカン塩酸塩「タイホウ」	60 mg/m ²	Day1, 8, 15	骨髄抑制(白血球減少) 下痢

2. レジメン

投与日	Rp	投与方法	投与時間	使用薬剤名	標準投与量	備考
Day1, 8, 15	1	点滴静注	30 分	アロキシ(0.75mg/5mL)	1V	
				デカドロン(3.3mg/1mL)	3A	
				生食 50mL		
	2	点滴静注	120 分	イリノテカン塩酸塩「タイホウ」 (40 mg/2mL) (100 mg/5mL)	60 mg/m ²	直射日光を避けること
				生食 500mL		

3. 初回投与基準・次クール開始基準(2クール目以降、投与前日又は当日に下記条件を満たさない場合は延期する)

- (1) PS規定: PS 0、1、(2)
- (2) 白血球数 $\geq 3000/\mu\text{L}$ 、血小板数 ≥ 10 万/ μL 、
- (3) 発熱、CRP上昇あるいは白血球増加($\geq 12000/\mu\text{L}$)等の感染兆候なし
- (4) 総ビリルビン ≤ 1.8 mg/dL AST、ALT ≤ 100
- (5) 下痢(水様便)、腸管麻痺、腸閉塞、胆汁排泄障害なし
- (6) 多量の腹水、胸水なし

4. 減量・中止基準 (前クール投与後に下記のいずれかに該当した場合は減量する)

- (1) Grade3 の血液毒性、あるいは Grade2 の下痢、排便回数の増加、腹痛が認められた場合には、副作用の回復を確認後、投与量を 50 mg/m²に減量して投与すること
- (2) Grade4 の血液毒性、あるいは Grade3 の下痢(血便、脱水、電解質異常)、排便回数の増加、腹痛が認められた場合には、投与を中止すること

5. 投与時の注意点

- (1) 血管外漏出に注意すること (潰瘍形成には至らないが局所での炎症を起こすことがある)
- (2) イリノテカンは光に不安定なので直射日光を避けて投与すること
- (3) イリノテカン投与後は適切な排便を促し、そのうえで下痢が続くようであれば下痢止めを使用する